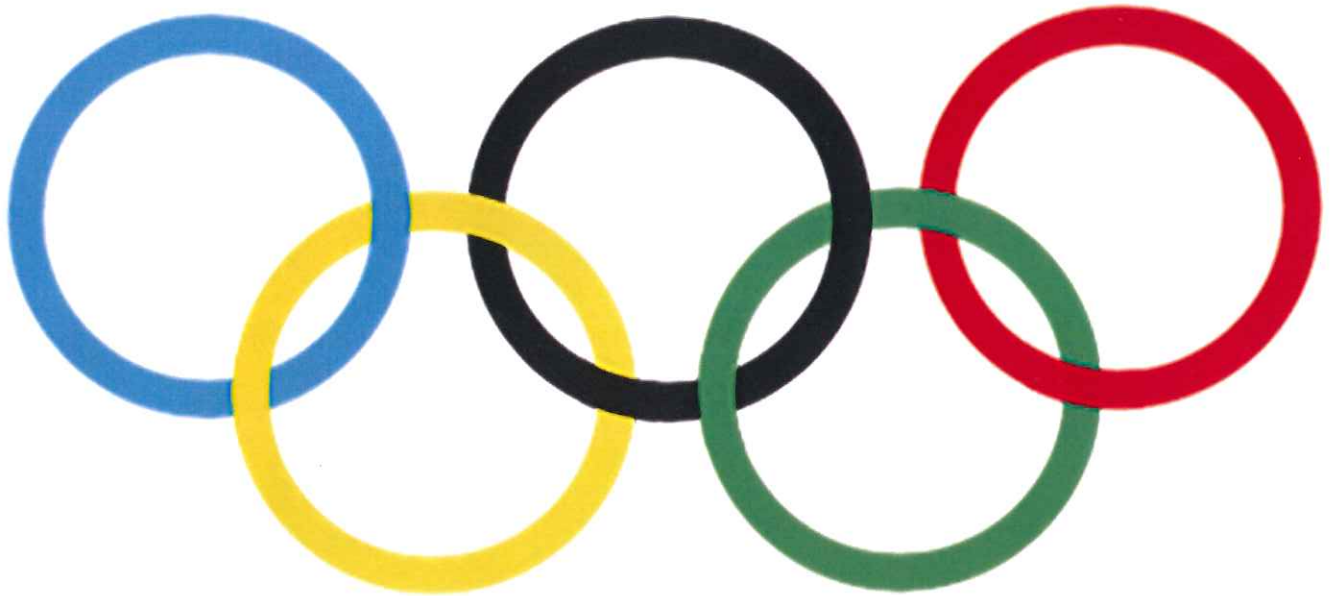
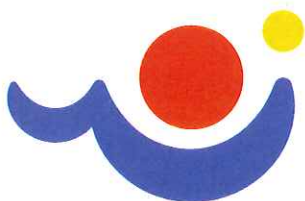


サン・レモだより

令和3年度 前期号



TOKYO 2020



医療法人 心々和会 サン・レモリハビリ病院 広報部

佐世保市江上町4848-1 ☎ (0956) 58-5900

[http:// kokowakai.or.jp/sanremo/](http://kokowakai.or.jp/sanremo/)

院内紹介 ～医局編～



左上から 中田 Dr・山城 Dr・南 Dr・柴田 Dr・荒木 Dr
吉良 Dr・浅井 Dr・山本 Dr

浅井 理事長

令和3年度、心々和会にとって記念すべき新年度が始まりました。サン・レモリハビリ病院と佐世保国際通り病院の連携のスタートです。サン・レモリハビリ病院で長く培っている医療・福祉に国際通り病院の地域包括ケア・健康診断・訪問看護ステーションなど合わせた相乗効果で地域の医療・福祉に貢献しましょう。

吉良 院長

仕事のために家を出る時に、楽しい職場かどうかで気持ちに大きな差がでできます。楽しい職場を作るのには、皆が仲良くなるのが最も大事と思われます。患者様のために自分なりに努力し、また同じ職場の人達と協力しあえた時、お互いが仲良くなれると思っています。医者同士が仲良くなるのはもちろんですが、他の職種の皆様とも仲良くなりたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

南 医師

医療療養病床である当院では、医療区分2、区分3の患者様が全体の80%以上必要で、それに見合う医療処置が要求されます。特に医療区分3は、バイパップ、胸腔ドレーン法、中心静脈栄養などの処置が挙げられます。良質な医療を提供できるよう努力します。

柴田 医師

私の今年の抱負は、次の3点です。①コロナに負けないように、生活上の規律を守り、免疫力を上げる。②現在の診療の研修医状態から早く脱すること。③コロナ禍の厳しい状況で、マジックを如何に披露するか考える。

荒木 医師

当院には種々の疾患にて身体、脳機能障害に苦しむかたが多く、また加齢による機能低下も加わってくるためなかなか機能回復が難しいのが現状ですが、他職種の方々と連携してリハビリを中心として治療を行い、日常生活動作のレベル向上を目指していきたくと思います。外来診療に関しては専門である呼吸器疾患を中心に診ていきます。以前から、遠方より受診して下さる患者様も居られ、コロナ禍の最中でもあり、電話診療などを活用しできるだけ患者様の利便性をはかっていきます。またICDとして院内感染及びコロナ対策に積極的に取り組んでいきたくと思います。

山城 医師

年々医療業界を取り巻く環境が厳しくなっている折、今年度は当院において自分にできる事として患者さんの身体への負担及び経済性を考慮し、積極的に処方薬の吟味・厳選を行いたいと思います。

山本 医師

令和3年の新しい年になり、コロナ感染症が拡大し始めました。又この時期に佐世保国際通り病院の完成も近づき、引越しの作業が待っている状況のなか、サン・レモリハビリ病院としても引っ越しに伴う作業が残されていたため、2月は大変な時期になりました。この大きな仕事を成し遂げることができた皆さんの総合力で今年も無事に一緒に乗りきることを願っています。

中田 医師

開業医(山祇診療所)をやめて昨年6月から勤務しております。宜しくお願い致します。
(抱負)コロナによる面会禁止で、患者様が家族に視野の外に移されています。ご家族の心配も増しておりますので、ご家族との面談や報告を密にして、対応していきたくと思います。

コロナウイルスについて

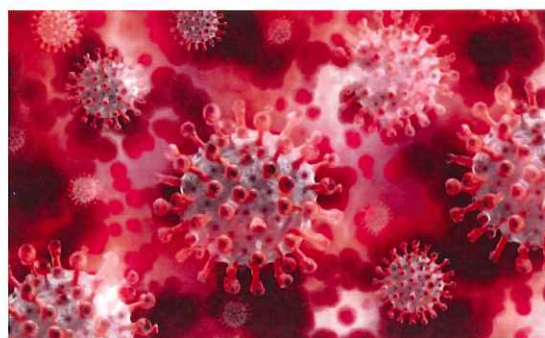
新型コロナウイルスとは

ヒトに感染するコロナウイルスは、すでに6種類が知られていました。そのうち4種類は、一般的な風邪の原因となるウイルスで、ヒトに日常的に感染し、風邪の原因の10～15%（流行期は35%）を占めるといわれています。残りの2種類は、重度の肺炎の原因となるSARSとMERSです。

ここ数年世界で蔓延している新型コロナウイルスはこれら6種類には当てはまらない新しい型のウイルスとして発見されました。

感染した人によっては軽度な症状だけで済む人もいれば、なかには重症化して死亡する人もいます。

かかりつけ医又は医療機関にかかる場合は、行く前に必ず電話で連絡を取ってください。症状が軽度で他に疾病がない時は、自宅療養を行う場合もあります。ウイルス感染してから、症状が現れるまで、平均5～6日、長い場合は、14日程度までかかることもあります。



コロナの症状

最もよくある症状は 発熱、空咳、倦怠感など

時折みられる症状は 喉の痛み、下痢、結膜炎、頭痛、味覚・嗅覚の消失、皮膚の発疹など

重度な症状は 呼吸が苦しい、息切れ、胸の痛み、圧迫感、運動機能の喪失症状など

対策と予防

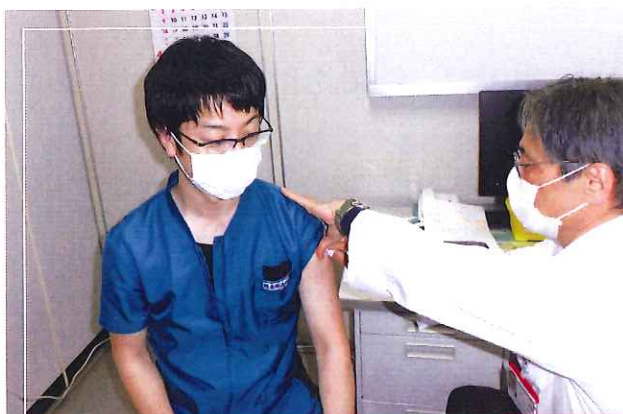
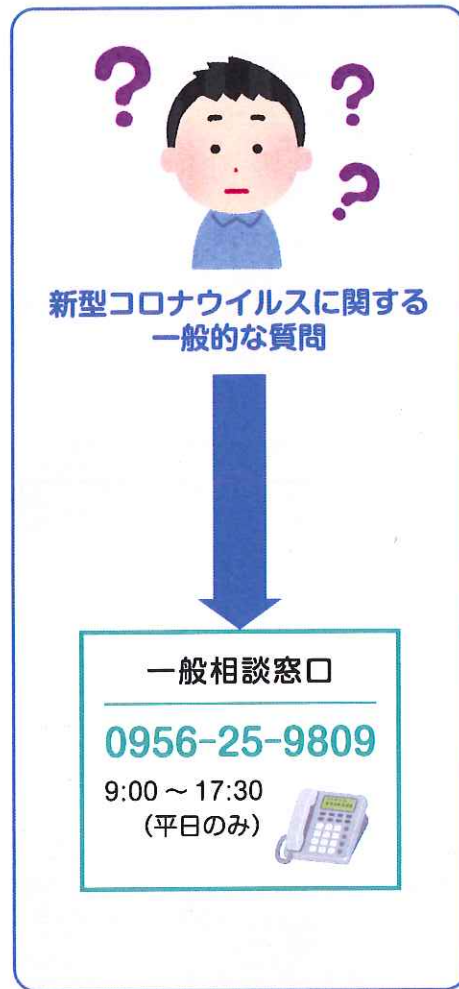
1 | 密閉・密集・密接を避ける



2 | 消毒・手洗い・うがい・マスク・換気



新型コロナウイルス感染症や発熱等症状のある方の受診・相談の流れ



コロナワクチン接種の様子



4月20日より当院にて医療従事者を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。

スムーズに接種を行う為、感染対策を行いつつ、会場の配置等を検討してきました。

接種後は副反応(アナフィラキシー)が出ないか確認するために待機室にて15分間待機しました。

今回1回目、2回目共に大きなトラブルもなくスムーズに終了することができました。

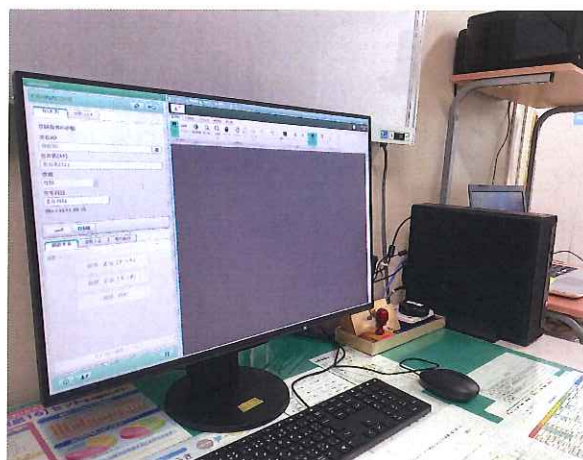


放射線科のデジタル化について

令和3年度より放射線科のデジタル化を行いました。

今回大きく変わった点は、レントゲンの診断がこれまでのフィルムによるものから、モニターで行えるようになったことです。

モニターで診断することで、フィルムの中では出来なかったレントゲン画像の拡大や濃度の変化などができるようになり、よりレントゲン画像が見やすくなりました。



今回のデジタル化に伴い、今まで使用していたフィルムがフラットパネルディテクター(FPD)に変わりました。

フラットパネルディテクターとは、体内を透過したX線を電気信号に変えて画像にするものです。

フィルムでの撮影と比べて、X線の線量を少なくして撮影を行うことができ、フィルムのように現像の時間がかからないため検査時間を短くすることができます。

撮影の時はこのフラットパネルディテクターを身体の撮りたい部位の下に敷き放射線を照射することで画像を得ることができます。

フィルムでは1回の撮影毎にフィルムの交換をしないといけなかったのに対して、フラットパネルディテクターでは交換の必要がないため、より多くの撮影ができるようになりました。

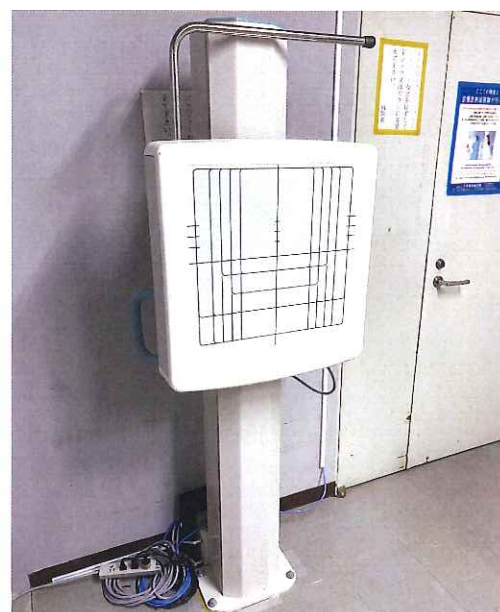
そして、レントゲン撮影台も新しくなりました。

取っ手がなく、台に抱きつくようにして立ってもらっていましたが、新しい台には取っ手が付いており、姿勢が安定して立っていただけだと思います。

これまでと大きく変化した放射線科のデジタル化について、簡単ではありますがご紹介させていただきました。

何かご不明な点や詳しく知りたいことなどありましたら、遠慮なくお尋ねください。

放射線科 倉田



レントゲン撮影台

交通マナーの徹底について

当院の行き帰り、江上大島内での運転マナーについて…

パールライン手前から左側方向当院までの道のりは、速度はどのようになっているのか皆様ご存知でしょうか？

実は『**徐行**』で進行します。『**徐行** 』でよろしくお願いします！

HTB～江上大島橋手前



当院からの帰りの江上大島橋手前では『**最徐行**』です。ハウステンボス側から江上大島橋手前まで進行してきた車両を発見した時は、そちら側の車両を優先しましょう。また、当院からハウステンボス側に向かう車両が、既に橋を進行しており、後からきた車両がハウステンボス側の橋手前で停車している時は、橋の上3～4台までとし、待っている車両を通しましょう。

当院～江上大島橋手前



狭い道路でお互いの車が通れない時は、基本的には譲ってあげる気持ちを持つことを忘れないようにしましょう。

もしも車道を譲ってもらった時は、お礼も忘れないようにすると良いでしょう。



当院～江上大島橋手前の下り道



当院からの帰りでは、ハウステンボス側からの登りの車が確認できる場所があります。大型のトラック等の車両の通行もありますので、そのような場所から確認するのも良いでしょう。

狭い道路では、待避所は一定間隔で設けられているので、対向車を見つけたら待避所で停車して待つというマナーもあります。



交通事故に関する注意について



先日、江上大島内で、ハウステンボス側から当院へ向かう車両と海側から進行してきた車両による交通事故が発生しました。この場所の道路は、海側に下る方が優先となっています。当院へ向かう時も、当院からの帰りも『**最徐行**』し、海側から来る車両に十分に注意しましょう。



当院往路



当院復路



中庭の工事について



【令和3年4月20日】

国際通り病院の仮設病棟
解体後、中庭の工事が始まりました。

【令和3年5月10日】

クッション素材のシートを敷き詰めている
様子です。工事の様子を眺められている
患者様をよく見かけました。
完成を心待ちにされていたようです。



利用している患者様や託児所の子供たちの様子

天気の良い日には託児所の子供たちも中庭に出てきて遊んでいるところを見かけるようにも
なりました。地面がクッション素材なので安心して遊ぶことができますね。



編集後記

新体制での広報誌の作成という初めての経験に加え、コロナ禍で活動に制限のある中、職員の皆様の多大なご協力のおかげで無事発行することができました。原稿作成にご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

今年は1年延期されていた東京オリンピックが開催されました。日本人選手のメダルラッシュという快挙に日本中が沸き立ち、コロナ禍で暗いニュースが多い日本に素晴らしいニュースを届けてくれました。アスリートたちの堂々としたプレーはコロナ禍の苦境において、多くの方に勇気を与えてくれたと思います。

コロナ禍の終息は、まだ先となりそうですが、院内での感染対策をしっかりと実施し、患者様に安全で安心な医療・介護を提供していきたいと思っています。

もうしばらく暑い日が続きますので、水分補給など、引き続き熱中症対策にも気を付けていきましょう。

(広報スタッフ一同) (令和3年度 前期号 通算26冊目)